



第 88 号

令和元年（2019 年）

8 月 20 日

発行責任 福岡県古賀市議会

特 集

令和元年の古賀市議会

2019 ～ 2023 年の議会構成 2 ～ 5p



第 2 回定例会 主な審議 ——— 6p

臨時会・補正予算 ——— 7p

ここが聞きたい！一般質問 ——— 8 ～ 14p

古賀市議会の活動・陳情 ——— 15p

古賀市議会



写真：国頭村の子ども達と交流を深める、古賀市少年の船の団員。

令和元年から 始まる新しい 古賀市議会

令和元年5月13日から1期4年間の任期に就く議員を紹介します。このメンバーで古賀市民5万9千人の声を市政に反映させていきます。

19番

結城 弘明

5期（無所属）

議長



課題山積に市民の想いを共有、満足度100%に議論し財源の有効活用、市力向上に努めます。

古賀市議会を代表して

令和の時代を迎え、改選後5月臨時初議会が開催。19名が重責と希望を担いスタート。

今や人口減と超高齢化はまったなしで多様化したニーズには地方議員と市民の合意形成が重要。議員は対応力が問われその研鑽と発信力に努めてまいります。

18番

田中 英輔

4期（社民党）

副議長

総務常任委員会



平和・人権・環境・福祉など、市民の暮らしを大切にすまちづくりに取り組めます。

1番

奴間 健司

7期（無所属）

議会運営委員会（委員長）
文教厚生常任委員会



健康・地域・環境がキーワード。子ども特定健診、在宅医療、移動手段実現に全力投球。

2番

福崎 トビオ

2期（無所属）

議会報編集常任委員会（委員長）
文教厚生常任委員会
議会運営委員会



子ども達と大人。地域と行政。古賀市の魅力を市外へ発信。多くの人が繋がる活動に取り組めます。

3番

清原 哲史

3期（無所属）

総務常任委員会（委員長）
議会報編集常任委員会



古賀市の強みを生かし、企業誘致を行い、雇用拡大や定住化、自主財源確保が喫緊の課題。

4番

内場 恭子

6期（日本共産党）

市民建産常任委員会（副委員長）



くらしに希望をくらしと平和と人権を守り、あなたの声を議会・市政に届けます。

5番

古賀 誠視

2期（無所属）

市民建産常任委員会（委員長）



少子超高齢化社会を迎え「市民の声を市政へ」の、公約の実現に古賀せいし頑張ります。

6番

内平 晃二

1期（無所属）

総務常任委員会
議会報編集常任委員会



この地域の都市計画をするためにこの場にいます。同じやるなら楽しくすると心掛けています。

7番

中野 敦史

1期（無所属）

市民建産常任委員会



大好きなこのまちを、胸を張って明るい未来へつなげるよう、現場第一主義で働きます！

11 番
平木 尚子
2期（公明党）



文教厚生常任委員会（委員長）
議会報編集常任委員会（副委員長）

小さな声も聴き漏らさない。皆さまが安心して笑顔で暮らせるまちへ、全力で走ります。

10 番
竹下 司津男
1期（無所属）



市民建産常任委員会
議会報編集常任委員会

古賀の魅力の発信とにぎわいの創出。市民一人ひとりが活躍できる場づくりに尽力します。

9 番
吉住 長敏
3期（無所属）



総務常任委員会

市政運営に温故知新の発想。日々耕す新鮮感で今期も毎日、思いを発信中。「吉住長敏」で検索。

8 番
渡 孝二
2期（無所属）



市民建産常任委員会

41年の行政経験と現場主義を軸に、雇用拡大と地域力の強化を図り、古賀市の活力を生み出します。

15 番
松島 岩太
6期（無所属）



文教厚生常任委員会
議会運営委員会

人、地域、さまざまな声に耳を傾け、課題を肌で感じ解決に向け行動し、ふるさと古賀市のために全力で働きます。

14 番
伊東 洋子
2期（~~お~~お政政サウナ）



文教厚生常任委員会（副委員長）
議会運営委員会

「子育てや介護をひとりぼっちにしない」一人ひとりが大切にされるまちをめざします。

13 番
森本 義征
5期（無所属）



市民建産常任委員会

「積極一貫」自分の信念を貫いて新しい古賀のまちづくりに尽力してまいります。

12 番
井之上 豊
2期（公明党）



議会運営委員会（副委員長）
総務常任委員会

防災、減災、福祉、教育を社会・政治の中心に。小さな声をまちづくりに反映していく。

（令和元年5月17日現在）

会派名	議 員 名（◎は会派代表者）
公明党（こうめいとう）	◎井之上 豊 平木 尚子
市民クラブ（しみんくらぶ）	◎古賀 誠視 村松 謙二 紙谷 由香
山海会（さんみかい）	◎田中 英輔 伊東 洋子
友和（ゆうわ）	◎森本 義征 清原 哲史 奴間 健司
自由クラブ（じゆうくらぶ）	◎松島 岩太 渡 孝二 福崎 トビオ 中野 敦史 内平 晃二
会派に属さない議員	結城 弘明 吉住 長敏 内場 恭子 竹下 司津男

（令和元年5月13日現在）

年齢別議員数

40歳代 2人	50歳代 6人	60歳代 6人	70歳代 5人
平均年齢61歳（最年長75歳／最年少45歳）			

（令和元年5月13日現在）

当選回数別議員数

1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
4人	7人	2人	1人	2人	2人	1人

17 番
村松 謙二
2期（無所属）



総務常任委員会（副委員長）
議会運営委員会

市民の福祉の向上と古賀市の経済的発展のため、行政と共に尽力いたします。

16 番
紙谷 由香
1期（無所属）



文教厚生常任委員会
議会報編集常任委員会

市民の皆さまの声が一番。看護経験を活かし、健康のまちづくりに力を尽くします。

議 会 の 構 成

議長 / 結城 弘明

副議長 / 田中 英輔

監査委員 / 森本 義征

委 員 会	主 な 仕 事	委 員 名
総務常任委員会	総務課、コミュニティ推進課、人事課、経営企画課、財政課、管財課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会	委員長 清原 哲史 内平 晃二 井之上 豊 副委員長 村松 謙二 吉住 長敏 田中 英輔
文教厚生常任委員会	福祉課、予防健診課、介護支援課、子育て支援課、隣保館、教育総務課、学校教育課、生涯学習推進課、青少年育成課、学校給食センター、文化課	委員長 平木 尚子 奴間 健司 松島 岩太 副委員長 伊東 洋子 福崎 トビオ 紙谷 由香
市民建産常任委員会	市民国保課、市税課、収納管理課、環境課、人権センター、農林振興課、商工政策課、都市計画課、建設課、上下水道課、農業委員会	委員長 古賀 誠視 中野 敦史 竹下 司津男 副委員長 内場 恭子 渡 孝二 森本 義征
議会報編集常任委員会	議会だよりの発行、編集方法などの総合的な調査研究 ※委員構成は、各常任委員会から1人、会派から3人の計6人	委員長 福崎 トビオ 清原 哲史 竹下 司津男 副委員長 平木 尚子 内平 晃二 紙谷 由香
議会運営委員会	議会の運営 議長の諮問 ※委員構成は、会派から選出の計6人	委員長 奴間 健司 福崎 トビオ 松島 岩太 副委員長 井之上 豊 伊東 洋子 村松 謙二 議 長 結城 弘明 副議長 田中 英輔
予算審査特別委員会 (第1回定例会にて設置)	当初予算案の審査	議長を除く議員全員
決算審査特別委員会 (第3回定例会にて設置)	決算案の審査	議長、議会からの監査委員を除く議員全員
補正予算審査特別委員会	補正予算案の審査	議長を除く議員全員

古賀市議会では常任委員会以外に設置される組織があります。

名 称	主 な 仕 事	構 成
政 策 推 進 会 議	政策推進会議の政策課題の決定に関する事 調査研究の実施に関する事 政策的条例案の策定に関する事 市長に対する政策提言の報告に関する事	会 長 奴間 健司 副会長 中野 敦史 田中 英輔 井之上 豊 村松 謙二 伊東 洋子 結城 弘明
議 会 報 告 会	議会の活動報告に関する事 議案などの審議の経過および結果の報告に関する事	会 長 井之上 豊 副会長 伊東 洋子 清原 哲史 村松 謙二 平木 尚子 古賀 誠視 内場 恭子 福崎 トビオ 奴間 健司 結城 弘明
森 林 ・ 林 業 ・ 林 産 業 活 性 化 議 員 連 盟	森林関連産業施策に関する調査・研究お よび意見の具申に関する事 森林関連関係事業の推進に関する事 その他森林と関連地域振興上必要な事項	会 長 竹下 司津男 副会長 内平 晃二 紙谷 由香 中野 敦史 村松 謙二 井之上 豊 奴間 健司 福崎 トビオ 清原 哲史 内場 恭子 古賀 誠視 渡 孝二 吉住 長敏 平木 尚子 森本 義征 伊東 洋子 松島 岩太 田中 英輔 結城 弘明

古賀市附属機関等（議会選出分）一覧表

（令和元年5月現在）

名 称	議会代表議員名
古賀市都市計画審議会	田中 英輔、村松 謙二、松島 岩太、渡 孝二
古賀市海津木苑運営委員会	結城 弘明、内平 晃二、内場 恭子
古賀市青少年問題協議会	紙谷 由香
古賀市交通安全対策協議会	田中 英輔、清原 哲史
北筑昇華苑組合議会	結城 弘明
玄界環境組合議会	結城 弘明、古賀 誠視
古賀高等学校組合議会	結城 弘明
粕屋北部消防組合議会	結城 弘明、清原 哲史、平木 尚子
古賀市土地開発公社	田中 英輔、井之上 豊、竹下 司津男
古賀市社会同和教育推進協議会	清原 哲史、中野 敦史
古賀市愛の献血推進協議会	結城 弘明
民生委員推せん会	伊東 洋子
古賀市人権尊重推進委員会	田中 英輔
古賀市青少年育成市民会議推進委員	結城 弘明、吉住 長敏、福崎 トビオ



古賀市議会事務局では、本会議・委員会の事務や運営の補助、会議録の作成、議会活動に必要な調査や資料の収集、議長の日程調整などを行っています。

市民の皆さまに開かれた市議会となるよう、これからも事務局職員一同、議会活動の支援に努めてまいります。

古賀市議会

事務局

小学校・中学校の空調設備整備工事が具体的に！ 子どもたちの教育環境が改善されます！

「平成 30 年度繰越ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業
小中学校普通教室等空調設備整備工事」を施工するため工事が決まり、契約を結びます。

市内各小・中学校普通教室、小学校図書室、和室に空調設備（エアコン）を整備するための契約です。作業は近隣の学校現場で並行して行い、学校間において完成時期の大きな開きはありません。工期（完成期日）は、令和 2 年 3 月 10 日です。

（可能な限り作業の前倒しに努め、早期に完成すれば運転開始は臨機応変に対応します。）



付託 ▶ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

賛成全員
可決

令和元年 10 月からの消費税率改定により古賀市の条例が変わります

古賀市介護保険料一部改定

10 月以降の消費税率引き上げに伴い、低所得者の介護保険料の減額を行うもの。
（平成 31 年度以降の年度分の保険料から適用）

古賀市一般廃棄物処理手数料の改定

10 月 1 日より消費税の税率が 10% になることから、一般廃棄物処理手数料の一部である、ごみ袋の本体に消費税分の 10% を付加し（現在は 8%）、増額。
（10 月 1 日以後販売されるごみ袋から適用）

賛成全員
可決

付託 ▶ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

付託 ▶ 市民建産委員会 賛成多数 可決

賛成多数
可決

第 2 回定例会

令和元年第 2 回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期：令和元年 6 月 6 日～24 日

号数	議案名	結果	奴間健司	福岡智之	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明
32	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	古賀市介護保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	古賀市税条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	古賀市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	平成 31 年度古賀市一般会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	平成 31 年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	平成 31 年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	工事請負契約の締結（平成 30 年度繰越ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業小中学校普通教室等空調設備整備工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

議長職のため、表決に参加しない

住民税非課税世帯・子育て世帯にやさしく プレミアム付き商品券発行

消費税率引き上げに伴う負担を軽減。対象者には市から直接、購入引換券交付申請書、または購入引換券を送付します。(地域活性化事業とは別)

3億2,022万8千円

補正予算

第2回定例会
(6月6日～24日)

令和元年度 一般会計 補正予算

補正 3億6,528万9千円追加 総額 217億2,020万1千円



職員増員分人件費

345万1千円

10月からの保育の無償化に伴い新たな事務処理に対応する職員の増員。



抗体検査・成人予防接種委託

1,463万5千円

感染症対策・風疹予防。対象の成人男性には、個別に通知。

令和元年度 特別会計 補正予算

国民健康保険……………補正 29万2千円増額……………総額 60億6,468万1千円

介護保険……………補正 0円(歳入予算内訳の変更)……………総額 39億9,607万4千円

人 事

古賀市固定資産評価審査委員会の選任について 古川 優子氏(再任) 吉田 稔徳氏(再任)

賛成全員
同意

市議会議員改選後、初めての議会 議会の体制が決定しました

正・副議長選挙が行われ、議長に結城弘明議員、副議長に田中英輔議員が選出されました。併せて、古賀市監査委員に森本義征議員が選出されました。各常任委員会の委員と、正・副委員長の出選も行いました。※詳しくはP2～3をご覧ください

主な審議

第1回臨時会
(5月16日)



ふるさと納税制度の見直しに伴う改正

返礼品の返礼割合を、3割以下および返礼品を地場産品とする市町村等に対する寄附金について、ふるさと納税(特例控除)の対象とします。

賛成全員
可決

令和元年第1回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和元年5月16日

号 数	議 案 名	結 果	奴 間 健 司	福 崎 智 之	清 原 哲 史	内 場 恭 子	古 賀 誠 視	内 平 晃 二	中 野 敦 史	渡 孝 二	吉 住 長 敏	竹 下 司 津 男	平 木 尚 子	井 之 上 豊	森 本 義 征	伊 東 洋 子	松 島 岩 太	紙 谷 由 香	村 松 謙 二	田 中 英 輔	結 城 弘 明
27	古賀市監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	専決処分(古賀市税条例等の一部改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	専決処分(古賀市国民健康保険税条例の一部改正)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	専決処分(古賀市条例の規定における元号等の取扱いに関する条例の制定)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	古賀市税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 /は除斥 議員は議席番号順

議決のため、素に参加しない

ここが聞きたい！

一

般

質

問

質問席

①道の駅構想について ②古賀駅周辺の賑わい創出について	清原 哲史	9 ページ
①「道の駅」基本計画への判断は ②学校での暑さ対策は ③西鉄宮地岳線跡地の活用は市民の声で	内場 恭子	9 ページ
①市民にとって投票しやすい選挙に ②市民にとって古賀市に道の駅は必要か	伊東 洋子	10 ページ
①市役所の窓口業務について ②古賀市の企業誘致の行方は	井之上 豊	10 ページ
①加速する高齢化の課題と対応について ②地域社会の根幹である 農業振興に向けて ③平和を願う心を育て継承を進めるために	田中 英輔	11 ページ
①高齢者の福祉について	紙谷 由香	11 ページ
①事故や犯罪から市民の生活を守るには	平木 尚子	12 ページ
①「道の駅」が古賀市の喫緊の優先課題かを問う ②古賀市の選挙制度を改善改革する 時ではないか ③ JR 千鳥駅の利便性向上と周辺整備について、今後の進め方は	村松 謙二	12 ページ
①通学路における子どもの安全確保 ②日本オープンへの取組みは	古賀 誠視	13 ページ
①“NHK 大河ドラマ”への連携策 ②令和“道の駅”と古代官道 ③「子供」と「子ども」表記	吉住 長敏	13 ページ
① JR 古賀駅周辺整備について ②西鉄宮地岳線跡地の活用について	福崎 智之	14 ページ
①第5次総合計画本気で力を入れますか ②「道の駅」本当に力を入れるのですか	奴間 健司	14 ページ

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人 30 分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます





清原 哲史
(友和)

道の駅構想を断念し、市民福祉の向上へ

答 道の駅を整備するか否かは、夏に判断

議員 道の駅構想について庁内での検討は充分なされたのか。

市長 コンサルが行った内容をもとに庁内で協議し、暫定案とした。

議員 議会に5月7日暫定案が示されたが、充分な質疑・審議する間もなく進めるのは議会軽視では。

市長 昨年度の事業成果である暫定案を一番に議会に説明。二元代表制の下、本案について議会の場で、指摘を受けることは極めて重い。

議員 市民の意見などを踏まえ、整備すべきかどうかは、夏ごろに決定とのことだが、メリットがあるとするならば具体的に市民に説明をすべき。

市長 2年間検討を行い、暫定案ができた。市民の意見を聴き、最終的に行政の長として判断する。

議員 利用者数110万人、売り上げ10・5億円は過大すぎる。

市長 利用者数、売り上げは一般的な道の駅同様、前面交通量から算出

したものであり現時点では適切。

議員 筑紫野古賀線は、産業道路であり、利用者数、売り上げも疑問。

市長 マーケティング調査をもとに算定している。ニーズは高い。

議員 補助金を活用しても、15・5億円の借金を後世に残すのか。

市長 財政に与える影響を考えなければならぬ。JR古賀駅周辺の整備が、1丁目1番地と思う。

議員 道の駅構想を断念し、その財源を市民の暮らしや子育て、福祉の向上に投入することを強く求める。

※その他の質問

JR古賀駅周辺の賑わい創出は

どうなるコスモス広場



内場 恭子

道の駅基本計画暫定案は建設が前提か

答 現段階では整備すると決定していない

議員 市民に暫定案を提示し、意見を求めている。道の駅の建設を進めていると感じられるかどうか。

市長 道の駅を整備することを現段階で、意思決定していない。市民に意見募集をし、反応を捉えるということが妥当。道の駅暫定案は、利用者数は年間約110万人、売り上げは年間約10・6億円と想定。

議員 総事業費約22・6億円のうち約15・5億円が市の負担は大きい。想定1日約3100人の来客数や売り上げも過大で、認められない。

議員 ミスト設置など熱中症予防を

議員 今年も猛暑の予想、熱中症対策が必要。ミストの設置や冷感タオル、うちわの使用、汗をかいだ体育の授業後の体操着の替えに、白Tシャツなど検討してほしい。

教育長 小・中学校校長会で、柔軟に対応できるように指導をしたい。

議員 子ども達と検討してほしい。

車道化反対の声は他の地域でも

議員 北区での西鉄宮地岳線跡地の活用の対話集会で、住民が「公民館そばの跡地を、多目的広場として活用させて」と提案。感想は。

市長 思いは心で受け止めた。意見の調和点を見いだす検討をしたい。

議員 それぞれの地域の要望を受けとめて、対応するという考えか。

市長 市民から投げられたボールを検討し、投げ返させてもらう。丁寧に話を積み上げることが大事。

議員 他でも車道化反対の声がある。フェンスの一部を切り、災害時の避難道路を増やしてほしい。

道の駅基本計画（暫定案）の概要の一部

- 候補地：古賀市青柳の筑紫野古賀線沿線、古賀グリーンパーク向かい
- 規模：
 - ・道の駅の用地面積：約23,000㎡
 - ・主要施設の面積：約1,980㎡
- 道の駅の売上などの想定：
 - ・利用者：約110万人／年（前面交通量から算出）
 - ・売上：約10.6億円／年
 - ・営業利益：約2,970万円／年（運営事業者の収益）
- 費用：
 - ・総事業費：約22.6億円
 - ・そのうち市の負担額：約15.5億円

※借り入れを行いながら20年間で返済予定



伊東 洋子
(山海会)

市民にとって投票しやすい選挙に

答 投票環境の向上に取り組む

議員 選挙のたびに投票率が低下しているが、具体的な改善策は。

市長 有権者がまちづくりに関心を持ち、「対話」と「交流」で市政を身近に感じるよう努める。

議員 サンリブでの期日前投票の実施日を増やしては。

選挙管理委員長 経費、人員の問題もあり現状維持。

議員 投票しやすい環境づくりは。

選挙管理委員長 今後も公職選挙法や国の動向を踏まえ投票環境の向上を考えていく。

議員 福岡県内で投票時間2時間短縮を実施しているのは古賀市のみ。有権者の投票の権利を守るため20時までに戻しては。

選挙管理委員長 2時間短縮を継続する。

市民にとって道の駅は必要か

議員 整備する目的は。

市長 観光の活性化や農産物の消費拡大など産業力の強化。

議員 道の駅に対する市民からの意見

政治を変えよう！投票に行こう！



をどう反映するか。

市長 整備方針を決定する大切な判断材料にする。

議員 コスモス広場の今後の活用は。農産物直売機能について発展的に合流できないか。

市長 コスモス広場利用組合と協議していく。

議員 整備費約22億円で市の財政負担が大きい。他の計画との優先は。

市長 健全財政を維持しながら、選択と集中の判断をする。道の駅を整備するかの判断は、夏ごろに行う。



井之上 豊
(公明党)

市役所の窓口業務と企業誘致について

答 窓口は丁寧な案内を 企業誘致は積極的に

議員 死亡後の手続きについては数多くあり、時間がかかって大変との声がある。先進事例など研究したことはあるか。

市長 県内では糸島市が「おくやみ案内」として窓口を設置、職員が視察をしている。

議員 古賀市は今後どのように進めていくのか。

市長 現在配布している「死亡届出後、市役所等で必要な主な手続き一覧」の内容を充実させ、わかりやすく説明したハンドブックの作成や、専用窓口の設置など研究していく。

議員 現在の企業誘致の状況は。

市長 造成中の玄望園地区や開発を検討中の今在家地区については、企業立地ガイドブックを活用し、古賀市の交通の利便性や産業集積などを広くアピールするため、企業訪問などを行っている。

議員 誰がどのように進めていくのか。

市長 私も必要に応じ、トップセールスという形で企業訪問に取り組んでいるところ。

議員 企業誘致に対する市長の意気込みは。

市長 企業誘致は定住人口の増加や雇用創出、安定した税收確保に極めて効果的な施策と認識している。今後も、今在家地区や新原高木地区をはじめ、開発可能な土地の利用転換に取り組むとともに、企業訪問などを通じ、企業との情報交換や意見交換を図り誘致活動に積極的に取り組んでいく。

企業誘致を待つ「玄望園」





田中 英輔
(山海会)

道の駅が検討されているが農業の課題は

答 担い手確保、農産品育成などが必要

議員 道の駅が検討されているが、農業振興にどうつなぐ考えか。

市長 整備案では農産物や加工品の販売を想定し、消費拡大や6次産業化の推進が期待される。

議員 市長は、「農業は地域社会の根幹と考える」と述べている。古賀市の農業の課題は。

市長 担い手の確保、所得の確保のための農業者の育成、経営の効率化、販路の確保など考える。

議員 農家数は1965年と比べ約6割、就業者は8割減した。今後高齢化・人口減少が進むが、どう検討されているか。

商工政策課長 売り上げの減少が見られるが、ブランド力、稼ぐ力の向上に一定の効果があると考えている。

議員 農業の実態が反映されておらず、農業の活性化、振興策が必要ではないか。

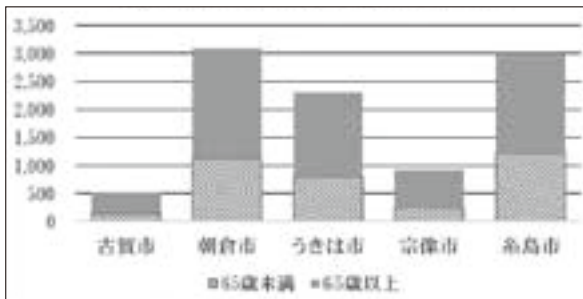
議員 平和を願つ心を育て継承を進めるために先の大戦から74年、継承は課題

で、市長はその必要性を述べている。どう取り組むか。

教育長 全小・中学校に植樹した被爆クスノキ2世を教材に平和学習を充実する。

議員 平和首長会議は「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名を呼び掛け、インターネット署名もできる。市はメンバーである。署名環境を整えるべきではないか。趣旨に沿うよう検討したい。

農業就業者の状況 (単位：人)



紙谷 由香
(市民クラブ)

高齢者の福祉の現状について

答 地域包括ケアシステムの構築を推進

議員 地域包括ケアシステムの趣旨の市民への周知は。

介護支援課長 古賀市という地域性をもったケアシステムの構築をめざす。計画の内容は介護予防講演会や出前講座で説明し周知を図っている。

議員 健康づくり、介護予防に対する意識に地域差がある現状に対しての取り組みは。

介護支援課長 各公民館で積極的に運動や音楽を中心に取り組んでいる。外出促進など市全体での取り組みを推進。

議員 高齢化率が低いうちに見守り隊やサポーターへの意識づけが必要だと思うが、その取り組みは。

市長 本市も超高齢社会故に地域差があるという事が大きな課題。ヘルス・ステーションについてもお互い意識をもつて活動することで徐々に広がっている。本年度のアンケート調査でニーズを

把握しサービスの充実を図る事に意識的に取り組む。

議員 一人暮らしで自分から発信できない、出掛けられない方への働きかけは。

保健福祉部長 情報の届かない方に対しては行政も課題だと認識。行政の取り組みにも限界があるため地域の方が支えて引き出している。たぐのが一番大事と考える。

議員 私たち働き手への意識づけをどう考えるか。

市長 今後自分たちにどう直面してくのかをイメージできるように発信をしていく必要がある。

高齢者福祉デイサービス





平木 尚子
(公明党)

事故や犯罪から市民の生活を守るには

答

それぞれ安全確保、周知、検討していく

議員 小中学校の登下校の安全確保は。

教育長 地域の「見守り隊」の方々と

保護者の方々が、児童・生徒の見守り活動や交通安全活動を行っている。

議員 平成17年子どもたちに行っていた登下校の「ながら見守り」は、現在も市民に呼び掛けているか。

教育部長 継続的に取り組まれているものと考えている。また、見守り体制の強化に努めていきたい。

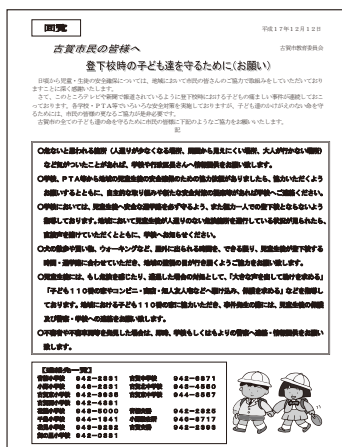
議員 自転車の安全教育は行き届いているか。また、自転車保険の加入は進んでいるか。

市長 小学校4年生を対象に、交通安全教室を実施。中学校では、交通安全に関わる講話などが計画的に実施されている。自転車保険の加入については保護者に案内、周知を進めている。

議員 犯罪被害者支援については、どのように取り組んでいるか。

市長 犯罪被害者等の権利利益保護

子ども達を守るための回覧 (平成17年)



や、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現による福祉の向上に資するものと捉え、情報収集や研究を行っている。

議員 古賀市で犯罪被害があった場合、どこで対応してもらえるか。

総務部長 総務部の総務課の窓口で対応する。

議員 古賀市で「犯罪被害者支援条例」を考えてはどうか。

市長 既に調査を始めており、県や先行自治体の事例を参考にし、その必要性も含め検討していきたいと考えている。

議員 最終的に道の駅を整備するかしないかの判断基準は何か。

市長 長期間にわたる市の財政負担が必要のため、事業収支計画と経済波及効果を精査し、議員への報告と市民からの意見を聞いた上で、総合的に判断する。

議員 平成29年度と平成30年度に委託した2社のコンサルタント資料では、総事業費が倍の差がある。この理由は何か。

商工政策課長 平成29年度の調査結果から、さらに平成30年度の基本計画を精査すると施設整備費の単価が増額した。

10億円という多額の差額を単価が増加したからと淡々と説明するのか。なぜこの差額を皆が見越すのか、全く理解できない。積算の根拠がない。毎年多額の税金を使い、借金も計画するなら、今後の中長期の財政見通しを示すべきだ。



村松 謙二
(市民クラブ)

「道の駅」十分な議論がない中どう判断する

答

私の責任で、8月ごろに意思表明をしたい

議員 庁内で検討を進めている。

議員 周辺の小売業や生産者直売所への影響について、どう対応されるのか。

市長 既存事業者の皆さまに、ご理解を求めていることは大事だ。

議員 税金で作った道の駅が誕生することで、営々と努力された小売店が閉店になる可能性もあり、住民への影響も大きい。大局的に判断すべきと考える。

議員 ※その他の質問

議員 JR千鳥駅の利便性向上と周辺整備について、今後の進め方は

2社で約10億円の差、積算根拠は？

【道の駅 総工事費（概算）】

	コンサルタントA社	コンサルタントB社	(千円)
	平成29年度 道の駅構想	平成30年度 基本計画（暫定案）	差
用地費	267,000	400,550	133,550
設計費	49,000	151,360	102,360
土木工事費	525,000	762,573	237,573
建築工事費	354,000	949,080	595,080
総事業費	1,195,000	2,263,563	1,068,563



古賀 誠視
(市民クラブ)

通学路に防犯カメラの設置を

答 安全対策として検討を進める必要がある

議員 国が示す、登下校防犯プランに
対して、市内の通学路や危険箇
所の点検や対策は。

教育長 平成30年9月に、教育委員会
学校、粕屋警察署などと合同点
検を実施し、古賀市内で23カ所
の危険箇所を抽出。

通学路安全マップの作成、不審
者情報の共有、防犯パトロール
の実施、見守り隊による見守り
活動など、安全対策を協議した。
議員 子ども自身が危険性を判断し、
避難できるような、避難訓練の
実施を進めるべきだ。

学校教育課長 粕屋警察署と連携し、各
学校の実態に応じた学習や、訓
練などを実施する。

議員 浜大塚線が完成すれば踏切は閉
鎖され、歩行者は地下歩道の通
行となる。安全確保のために、
防犯カメラの設置を。

市長 防犯カメラは、安全対策として
検討を進める必要がある。

進めよう命を守る防犯カメラの設置を



議員 古賀ゴルフクラブでの日本オー
ブン開催に向けた、古賀市の活
性化への取組みは。

市長 ゴルフ場内に、市をPRする特
設ブースの設置、ししづ駅周辺
での特産品の販売。日本オーブ
ンパンフレットの市長コーナー
で、市の魅力を発信。

商工政策課長 商工会と連携し、飲食・
物産ブースなど設けたい。

議員 高校生以下は入場が無料なので、
ぜひ呼び掛けを。
教育部長 市内全小中高生に、チラシを
配布。ぜひ観戦してほしい。



吉住 長敏

大河招致、柳川市との連携策は

答 6月1日、招致委員会に加盟

議員 5月23日の連携調印式で地元新
聞等は一面扱いの反響ぶり。感
想は。

市長 自治体では14番目。能動的に参
画したケースでは初めて。援軍
のように古賀市が現れた実感。

議員 地元日本画家、小林恒火子作の
立花城の画が庁舎特別応接室に
移設されたが。

副市長 貴賓を迎える機会が多い特別
室に立花山と道雪、宗茂と関わ
りの宣伝が可能になると措置。

議員 連携宣言を機に何らかのエール
交換を考えては。

市長 観光を売りにした柳川市とのア
プローチが格段にし易くなった。

子供と子どもの表記
議員 市公文書の取り扱い。

市長 特に規定はないが多くは漢字平
仮名表記の「子ども」と表記。

議員 学校ではどう教えるか。

教育長 「供」の漢字が小学6年生の国
語の新出漢字で取り扱う。教科書

連携調印式の前賀、柳川両市長



議員 は漢字と混ぜ書き両方で表記。
毎日新聞は学校で「子供」と書
くと「子ども」に書き換えさせ
られる実態があると報じた。古
賀市はどうか。

教育長 そうした実態はない。私も就
職してから漢字、平仮名の「子
ども」を使っている。

議員 修正がないとの回答にホッとした。
※その他の質問

道の駅と古代官道「席打駅」を重ね
た観光資源に期待



福崎 智之
(自由クラブ)

可及的速やかな市長判断が必要な時期では

答 進捗を見ながら判断をしたい

議員 自然災害で倒れた商店街の街路灯について、人為的事故でない場合の責任は誰が問われるのか。

建設課長 広告灯は占有者が管理し、事故があつた場合はその占有物件の申請者、管理者である。

議員 占有者不明で撤去もできず、善意で駅前を少しでも明るくと取り組んでいる地元区に対し、電気代を払っているから責任者だと言うのは市民に寄り添った行政か。

市長 法的整理、技術的支援、段階的に改善していけるよう助言をしていく。

議員 西鉄宮地岳線跡地活用の取り組みとスケジュールは。

市長 道路や歩道、遊歩道、緑地など、市民に愛され続ける跡地になるよう対話集会の継続、用地の買い戻し、地元との協議が整った上で詳細設計に取りかかりたい。

議員 車道がない区間は将来車道にも

変更可能として整備し、まずは地域が活動できる広場にしてはどうか。

市長 対話を重ね、進捗を見ながらしかるべき時期に判断をしたい。

議員 災害や緊急時対応のためフェンスを外し、東西に抜ける避難路の整備に速やかに取り組むべきでは。

市長 跡地全体の検討と並行し、東西通行の問題を速やかに解決していくことにも取り組んでいる。

議員 このまちの未来に対し、責任を持った判断、対話、交流。その先をこれから見せていただく。

自然災害で倒れた街路灯



通称名使用取扱要綱に基づき、7月24日以降「福崎 トビオ」表記。



奴間 健司
(友和)

第5次総合計画策定に本気で力を入れるのか

答 今年は職員、市民と共通認識化が大事

議員 2022年度からの第5次総合計画策定方針はどうなったか。

市長 今年度から庁内で検討を開始し、令和3年9月議会に基本構想案を上程予定。SDGs・持続可能な開発目標の視点を取り入れる。

議員 量的拡大から暮らしの質の充実への転換が必要ではないか。

市長 重要問題は少子高齢化と人口減少。質的に高い人生を送れる地域社会を構築することが必要だ。

議員 効果測定に新国富指標（人工、教育、健康、自然を資本として把握）が役立つのではないか。

市長 研究途上であり慎重に考える必要がある。勉強させて欲しい。

議員 基本構想に財政フレーム、人口フレームを盛り込むべきだ。

市長 中期財政見通しや改定予定の人口ビジョンを踏まえ検討する。

議員 道の駅に本当に力を入れるのか

点を取り上げたがどう思うか。

市長 非常に重要な問題意識、論点を提示していただいたと認識。

議員 もし道の駅を整備すれば持続可能な地域づくりに影響が出ないか。

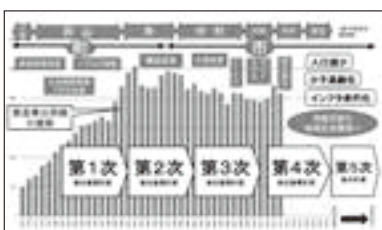
市長 まちの持続可能性に寄与するかどうかを念頭に置いて判断したい。

議員 もし道の駅を整備すれば財政見通しから見て市長が1丁目1番地という古賀駅東口開発に着手することは可能か。

市長 東口開発を必ず推進するという強い決意を大前提に判断したい。

議員 持続可能な地域づくりのために、も道の駅は区切りをつけた方が

40年のあゆみ 新たな課題と目標設定を



古賀市議会の活動

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
第1回定例会	常任委員会等で所管事務調査	常任委員会等で所管事務調査 市議会だより作成	第4回定例会	常任委員会等で所管事務調査	常任委員会等で所管事務調査 市議会だより作成	第3回定例会	常任委員会等で所管事務調査	常任委員会等で所管事務調査 市議会だより作成	第2回定例会	臨時会（改選後のみ） 常任委員会等で所管事務調査	常任委員会等で所管事務調査 市議会だより作成

定例会をはじめ、臨時会、常任委員会などの各種委員会及び各協議会を開催しています。
これらは住民を代表する公選された議員によって構成され、古賀市政の意思決定を行う大変重要な機関です。

視察の受け入れ

平成30年度は9自治体から延べ92人の視察を受け入れています。

調査機関による近年の議会改革度ランキングで古賀市議会の順位は非常に高く、九州でトップの年もありました。

視察内容は議会改革や議会での情報処理機器の活用などです。（昨年は選挙の影響でたくさんの視察をお断りさせていただきましたが例年は3倍程の視察を受け入れています。）



看護大学生インタビュー

6月24日、古賀市議会とパートナーシップ協定を締結している福岡女学院看護大学の保健師選択コースの4年生3人が市議会を訪ねてくれました。お互いの自己紹介から始まり、およそ1時間のインタビューを受けました。

議員と地域との関わり方などから始まり、古賀市の問題点や地域医療の課題など多岐にわたる鋭い質問がありました。将来の地域医療を担う若者との貴重な交流の場となりました。



陳情

元年陳情1

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきものとする意見書の採択を求める陳情

陳情者

全国青年司法書士協議会

会長 半田 久之

元年陳情2

日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳述書

陳情者

一般社団法人 日本沖縄政策研究フォーラム

理事長 仲村 覚

元年陳情3

米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

陳情者

宜野湾市民の安全な生活を守る会

会長 平安座 唯雄

■おわびと訂正

こが市議会だより第87号についておわびいたします。

2ページ「平成31年度予算」の「道の駅基本計画策定委託」について

○小見出し

【誤】道の駅基本計画策定委託

↓【正】道の駅基本設計・用地測量・補償調査委託

○本文

【誤】「整備に向けた検討を行う」

↓【正】「整備について検討を行ったものです」

市民活動紹介 ボランティア 訪問 ②9

まちの草の根活動
紹介しま〜す！

古賀駅前を元気にする有志たち

「駅前商店街土曜夜市」

昔の駅前商店街



2001年、商店街の人たちが集まり、これからの商店街がどうあるべきかを話し合っている時に「自分たちでできることは何か」「夜市を復活させよう！」と声が上ががり、商店街や地元の有志が集まり、古賀市商工会の協力を得て「土曜夜市」が復活。今年で18年続く地域の祭りになっています。

古賀駅前商店街がにぎわっていた頃、日頃のお客さまや地域の人に感謝の気持ちを込めた「土曜夜市」が開催されていた。御神輿やどんたく、長く続いた活気がある商店街の祭りは、担い手不足から休止状態となっていました。

夜市開催中の駅前商店街



有志で構成される土曜夜市実行委員会は、夜市当日に向けて、商店街を歩行者天国にするため地元区長の同意書と企画書、配置図などを警察署に届け説明し、道路使用許可をもらい、後援依頼や近隣住民へのビラ配り、出店者の呼びかけなど裏方に徹して活動しています。

今年台風のため中止となりましたが、実行委員からは「子ども達が楽しみにしてくれている地域行事ですが、子ども達の安全を考え中止の決断をしました。でもこれからも続けますので、みんなで駅前を盛り上げましょう！」と力強い言葉を聞かせていただきました。

連絡先…土曜夜市実行委員会
(事務局 古賀市商工会)
092-942-4061

第2回定例会の傍聴者は77人でした。

ありがとうございました。

第3回定例会は8月26日(月曜日)開催予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。

ご利用ください。



令和元年 古賀市議会 第3回定例会会期日程(案)

会期 8月26日～9月20日 26日間

日曜	8/26月	28水	29木	30金	9/2月	3火	4水	5木	6金	10火	11水	13金	17火	18水	20金
会議名	本会議(初日)	本会議(2日目)	常任委員会	常任委員会	常任委員会	補正予算審査特別委員会	一般質問	一般質問	一般質問	決算審査特別委員会①	決算審査特別委員会②	決算審査特別委員会③	決算審査特別委員会④	決算審査特別委員会⑤	本会議(最終日)
開議時刻は全て9時30分～															

注)会期日程は、8月21日(水)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議事録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)
◎請願書の締切りは8月19日(月)午後5時です。

古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



表紙の言葉

古賀市少年の船は30周年を迎えました。沖縄県国頭村からは、村をあげて子ども達を送り出し、記念式典に駆けつけてくれました。

編集後記

4月の改選により、議会報編集常任委員会の顔ぶれも変わりました。古賀市議会の情報発信ツールとして「見やすい読みやすい」を目標に、前期では少しずつでしたが、改良に取り組んでできました。

今期では、議会ならではの情報をさらに見やすく読みやすく、市民も参加できる企画にも取り組んで行こうと編集会議を行っています。古賀市議会だよりが多くの人に読んでいただけるよう委員全員で取り組めます。(福岡)

議会報編集常任委員会

委員長 福岡トビオ
副委員長 平木尚子
委員 清原哲史
内平晃二
竹下司津男
紙谷由香

